

2022年度 基盤教育科目および資格科目(全学共通科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
道徳教育論	東田 充司	2	追手門学院小学校 教諭・教頭および校長 追手門学院大手前中学校 副校長	道徳教育の授業経験を生かした実践力、特に授業づくりに求められる各担任の道徳指導力の育成を主眼とした全校の道徳特設授業を定期的実践してきた。これらの経験に加え、大阪府私立小学校連合会主催の初任者研修会を担当理事として運営指導した経験を活かし、指導者による模擬授業を随時行う中で、具体的な授業技術を伝えていく。	教職科目
職業指導論	南谷 雄司	2	経理専門学校(2年)・兵庫県立高等学校教諭(24年)・教頭(8年)・校長(2年)・医療福祉専門学校(3年)・短期大学(1年)・大学(3年)・コミュニティカレッジ(19年)・進路指導(職業指導13年)・商品開発(5品目)・ビジネスアイデア指導(5年)の勤務経験・私立高校教諭・非常勤講師(9年)・公立高校非常勤講師(3年)(全15回)	民間企業面接・教員採用試験面接対策・SDGs・ビジネスアイデアプラン作成・起業家教育・商品開発の方法・高校現場からの職業指導等	教職科目
社会教育概論1	大場 孝弘	2	青少年にかかわる非営利団体の職員として、地方自治体の青少年施設や就労支援機関で青少年の成長を支援してきた。青少年の多様な課題の改善のために関連機関や団体との連携体制を整備する活動や、青少年リーダー養成など支援に貢献できる人材育成を行ってきた。	多くの学びの事例を紹介し、社会教育活動の多様性理解を促進する。授業は講義が中心だが、多様な意見に触れる機会を作るため、ワークショップの手法を活用して小グループによる意見交換を取り入れる。	教職科目
社会科教育論1(地理歴史分野)	我妻 秀範	2	37年間、京都府立高校の教員として地理歴史科及び公民科を担当してきた。また定年退職後は大学院で教育課程・教育方法について研究してきた。講義ではこうした経験をふまえ、社会科の授業づくりだけでなく、学校や生徒の状況、教員として必要な資質能力についても紹介したい。	教員経験をふまえて社会科の歴史分野・地理分野に係わって、教科の目標と内容構成、教育実践の歴史、教科書の検討、教材研究の方法、学習指導案の作成、授業方法について講義を行う。	教職科目
英語科教育論1	松宮 新吾	2	大阪府立高校教諭として20年勤務し、その間国際教養学科の設置、国際理解教育の推進、英語教育及び英語以外の第二外国語教育の推進に携わってきた。 その後、大阪府教育委員会事務局総括主査として、5年間、大阪府内所管の高等学校を中心に、外国語教育、国際理解教育等の政策企画・実施・評価に携わった。その間、国のJETプログラムや大阪府のNETプログラム、T-NETプログラム等の推進・展開を行った。	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	教職科目
英語科教育論2	松宮 新吾	2	大阪府立高校教諭として20年勤務し、その間国際教養学科の設置、国際理解教育の推進、英語教育及び英語以外の第二外国語教育の推進に携わってきた。 その後、大阪府教育委員会事務局総括主査として、5年間、大阪府内所管の高等学校を中心に、外国語教育、国際理解教育等の政策企画・実施・評価に携わった。その間、国のJETプログラムや大阪府のNETプログラム、T-NETプログラム等の推進・展開を行った。	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	教職科目
社会科・地理歴史科教育論	我妻 秀範	2	京都の府立高校教員として37年間、社会科、地理歴史科・公民科の授業を担当してきた。また定年退職後は大学院で教育課程・教育方法について研究してきた。本講義ではその経験をふまえ、地理歴史科の授業づくりだけでなく、学校や生徒の状況、高校教員に必要な資質能力についても紹介したい。	教員経験をふまえて地理歴史科に係わって、各科目の目標と内容構成、歴史学や地理学の研究動向、教育実践史、教科書の検討、教材研究の方法、学習指導案の作成、授業方法について講義を行う。	教職科目
英語科教育研究1	松宮 新吾	2	大阪府立高校教諭として20年勤務し、その間国際教養学科の設置、国際理解教育の推進、英語教育及び英語以外の第二外国語教育の推進に携わってきた。 その後、大阪府教育委員会事務局総括主査として、5年間、大阪府内所管の高等学校を中心に、外国語教育、国際理解教育等の政策企画・実施・評価に携わった。その間、国のJETプログラムや大阪府のNETプログラム、T-NETプログラム等の推進・展開を行った。	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	教職科目
英語科教育研究2	松宮 新吾	2	大阪府立高校教諭として20年勤務し、その間国際教養学科の設置、国際理解教育の推進、英語教育及び英語以外の第二外国語教育の推進に携わってきた。 その後、大阪府教育委員会事務局総括主査として、5年間、大阪府内所管の高等学校を中心に、外国語教育、国際理解教育等の政策企画・実施・評価に携わった。その間、国のJETプログラムや大阪府のNETプログラム、T-NETプログラム等の推進・展開を行った。	TESOL(非英語話者に対する英語教授法)の実践に基づく英語教授法研究と実践的な授業マネジメントスキルを習得する。	教職科目
国語科教育研究1	平野 智之	2	大阪府立高校国語科教諭として30年間の実践を積んだ後、教頭(1校)、校長(2校)として高校現場で、カリキュラム改革、授業改革、人材育成等、学校経営に携わってきた。	大阪府立高校で、教諭、教頭、校長としての立場から教育活動に携わった経験を踏まえ、教育現場における教員の仕事の重要性を事例とともに伝え考えさせていく。 授業観察、指導助言を行った経験をもとに、新たな学習指導要領にも書かれている「生徒主体の学習」など、今後求められる国語授業力を明確にしながら、教材研究の方法、学習指導案の作り方、授業の方法、生徒への接し方、人権感覚の重要性等について具体的実践的な指導を行っていく。	教職科目

2022年度 基盤教育科目および資格科目(全学共通科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
国語科教育研究2	平野 智之	2	大阪府立高校国語科教諭として30年間の実践を積んだ後、教頭(1校)、校長(2校)として高校現場で、カリキュラム改革、授業改革、人材育成等、学校経営に携わってきた。	大阪府立高校で、教諭、教頭、校長としての立場から教育活動に携わった経験を踏まえ、教育現場における教員の仕事の重要性を事例とともに伝え考えさせていく。授業観察、指導助言を行った経験をもとに、新たな学習指導要領にも書かれている「生徒主体の学習」など、今後求められる国語授業力を明確にしながら、教材研究の方法、学習指導案の作り方、授業の方法、生徒への接し方、人権感覚の重要性等について具体的実践的な指導を行っていく。	教職科目
教育原論	吉田 卓司	2	西宮市立西宮東高等学校教諭[社会科](1983年4月から1998年3月まで) 西宮市教育委員会より「性教育(エイズ教育)」研究員に委嘱(1995年4月から1996年3月まで) 兵庫県立西宮甲山高等学校教諭[公民科・地歴科](1998年4月から2011年3月まで) 兵庫県教委「平成10年度『生きる力』を育む学習指導」教育実践論文入選(1999年2月) 高槻市教委スクールソーシャルワークSV	ロールプレイ、ディベート、バズ(グループ)討議、講話実習等の学生参加型講義のアクティブラーニング及び受講者相互のピア・カウンセリング・グループワークを実施して、対応力の育成を含む実践的教育力の育成を図った。また、講義に対する感想、意見、質問等は、毎講義時に受講レポートを課し、実務的な視点からの助言や指導を行い、学習理解の深化を目指した。	教職科目
国語科教育論1	平野 智之	2	大阪府立高等学校教員	高等学校におけるカリキュラム改革、インクルーシブ教育の推進	教職科目
国語科教育論2	平野 智之	2	大阪府立高等学校教員	高等学校におけるカリキュラム改革、インクルーシブ教育の推進	教職科目
書道1	泉 美智子	2	高等学校 書道科教諭歴 38年	硬筆、毛筆実技指導 書の知識の伝授 実践的な授業力	教職科目
書道2	泉 美智子	2	高等学校 書道科 教諭歴 38年	硬筆毛筆実技指導 書の知識の伝授 実践的な授業力	教職科目
博物館資料保存論	宮元 正博	2	博物館学芸員として10年以上の実務経験あり	通常、働きながら数年かけて学ぶことが多い博物館の現場で必要な知識を、半期という短い期間で体系的に身に付けることができる	学芸員科目
博物館実習(週間授業+夏期集中)	瀧端 真理子	3	共担の宮元正博講師の専門は日本民俗学であり、高槻市立しろあ歴史館、関西大学なにわ・大阪文化遺産学研究所センター、安中新田会所跡旧植田家住宅、池田市立歴史民俗資料館での勤務経験が通算約20年あり、学芸員資格を審査認定されている。 数多くの企画展・特別展を主担当し、資料の取り扱い・保存・写真撮影・図録編集等の実務に通じている。	学生が主体となって行う將軍山会館での展示実習を指導する。 具体的には、資料調査の方法、資料の調査取りと写真撮影、キャプション・解説パネルの作成、ポスター・チラシの作成、展示レイアウト等を指導し、実習生の手によって実際の展示を完成させる。	学芸員科目
特別支援教育論	熊本 勝重	2	小学校教員を37年間し、その内特別支援学級を18年間担任してきた。同時に8年間特別支援教育コーディネーターとして学校の特別支援教育の構築に関わる。6年前から障害児の教育相談に関わるようになった。	障害児の実際の姿、学校での様子など作文や写真、映像などの資料で紹介する。 発達障害児等の困り感についての意味付けとフォローの仕方について実際の事例をもとに学ぶ。 自閉スペクトラム症児の教育における言語の発達や人間関係の構築について、実際の児童の発達の様子をもとに実践してきた様子を授業の中で紹介する。 障害児の保護者の実際の困り感や願いも同時に紹介する。 実際に支援教育の教育課程づくり、支援計画づくりを授業内で行う。	社会教育主事科目
生涯学習支援論1	大場 孝弘	2	青少年にかかわる非営利団体の職員として、地方自治体の青少年施設や就労支援機関で青少年の成長を支援してきた。青少年の多様な課題の改善のために関連機関や団体との連携体制を整備する活動や、青少年リーダー養成など支援に貢献できる人材育成を行ってきた。	必要に応じてリーダー養成や青少年の自己覚知のためのワークショップの手法を簡便化したグループワークを取り入れることで、体験的な気付きの機会を増やすなど、授業内容の理解を深めることができる。	社会教育主事科目
生徒・進路指導論	辻 健司	2	1977(昭和52)年度から2013(平成25)年度定年退職まで、京都市立中学校の教諭として勤務し、その後も再任用教諭や非常勤講師として、京都市内の中学校に勤務した。その間、各勤務校で、学級担任、学年主任、生徒指導主任、補導主任、進路指導主任、生徒会担当などを歴任した。	40年を越す現場経験において、中学生一人一人の思いや悩みに寄り添い、教職員間の合意形成や協同をはかりつつ、生徒指導・進路指導上の様々な問題解決にあたってきた。また、保護者や地域住民の教育要求を受けとめ、開かれた学校づくりを推進してきた。そうした経験を教材化し、学生の生徒観や生徒指導上の方法の習得に生かす。	社会教育主事科目
自然地理学概説1	青木 哲哉	2	遺跡の発掘調査における自然環境の調査指導	自然環境調査の指導経験を活かして、自然環境に係わる知識ならびに自然地理学の調査方法や分析方法について、基本から習得できるような授業を行う。	教職科目

2022年度 基盤教育科目および資格科目(全学共通科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
自然地理学概説2	青木 哲哉	2	遺跡の発掘調査における自然環境の調査指導	自然環境調査の指導経験を活かして、自然環境に係わる知識や調査方法、分析方法について基本から習得できるような授業を行う。	教職科目
リーダーシップ入門	田上 正範	2	大手電機メーカーにて、半導体デバイスの技術開発部門(主任)、教育サービス事業の企画推進(課長)、関係会社のシステム部門(部長)等の歴任し、社内外の交渉や人材マネジメントを経験。	実務経験を活かし、実社会で必要なリーダーシップや仕事の進め方、社会人基礎力などを育成している。	
キャリアデザイン	太田 昌志	2	民間企業の研究所に研究員として従事した経験	民間企業の研究所において子どもの発達に関する追跡データを収集分析した経験から、キャリアに関する実証的なアプローチの方法を、データへのアクセス方法、調査データの読み取り方とともに紹介する	
未来課題	福田 哲也	2	30年以上にわたり、「考える」活動を意識した理科教育を実践。2007年には、文部科学省中央教育審議会のメンバーとして、中学理科の学習指導要領の設定にも尽力した。当該授業は、単なるリメディアル教育ではなく、科学の本質を理解し、科学的な視点を身につけることを目指す。	30年以上にわたり、「考える」活動を意識した理科教育を実践を行い、理科教育学会などで発表。「考える力を育む理科教育の実践」奈良教育大附属中学校研究収録34号,2004	
未来課題	牧 文彦	2	本講座は先駆的、実験的なデザイン活動を審査対象とする、新領域部門で2008年度グッドデザイン賞を受賞したデザイン教育プログラムをベースに、SDGs教育のために発展させた。	芸術大学、商業高校(商品開発)、小・中学校(アクティブラーニング)で問題発見・課題解決型の講座を行い、実際の商品やサービスとして世に送り出し、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞などの賞を受賞している。	

2022年度 国際教養学部(学部等共通科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
国際リーダーシップ論	平井 華代	2	国際援助機関・研究機関での実務経験を有する。	国際的な現場でのリーダーシップ、ディスカッション、コミュニケーションの実際を伝える。	
市民活動と国際貢献	平井 華代	2	国際機関での実務経験を有する。	開発援助の現場での体験談を交えて講義を進める。	
笑いコミュニケーション	広瀬 依子	2	1989年から2016年まで、総合芸能雑誌『上方芸能』の編集者として勤務。関西発の舞台芸能の成り立ちや作品、現況の取材等を行ってきた。関西は笑いの芸能が発達している地域であり、落語・漫才・喜劇などの芸笑についても誌面で紹介してきた。	現場を取材して得た演者や制作者の生の声、表現方法、演出、作品の解釈などを取り入れていく。	
狂言の世界	広瀬 依子	2	1989年から2016年まで、総合芸能雑誌『上方芸能』の編集者として勤務。狂言の成り立ちや作品、狂言界の現況などの取材・執筆を行ってきた。ことに関西には多くの狂言師が拠点を置き、最前線での活動に触れてきた。	現場を取材して得た演者、制作者、技術者などの生の声をもとに、表現方法、演出、作品の解釈などを取り入れていく。	
人形浄瑠璃文楽の世界	広瀬 依子	2	1989年から2016年まで、総合芸能雑誌『上方芸能』の編集者として勤務。本誌をはじめ、国立文楽劇場公演プログラムやガイド本作成のため、取材・執筆を多く行ってきた。文楽鑑賞講座等の進行役、講師も手がけてきた。	現場を取材して得た技芸員の生の声、表現方法、演出、作品の解釈などを取り入れていく。	
落語の世界	高垣 伸博	2	毎日放送に約37年間在職し、そのうち27年間はテレビの制作現場でディレクター・プロデューサーとして主に「落語」「漫才」「吉本新喜劇」などの「お笑い番組」を担当した。また、その後退職まではアナウンサー室で管理職として、アナウンサーを通して「正しく話す・喋る」ことを体感・会得した。	桂木朝、桂枝雀を中心に落語番組を数多く制作してきた。その経験と吸収したことを日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
漫才の世界	高垣 伸博	2	毎日放送に約37年間在職し、そのうち27年間はテレビの制作現場でディレクター・プロデューサーとして主に「落語」「漫才」「吉本新喜劇」などの「お笑い番組」を担当した。また、その後退職まではアナウンサー室で管理職として、アナウンサーを通して「正しく話す・喋る」ことを体感・会得した。	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
世界のユーモアと日本の笑い	高垣 伸博	2	毎日放送に約37年間在職し、そのうち27年間はテレビの制作現場でディレクター・プロデューサーとして主に「落語」「漫才」「吉本新喜劇」などの「お笑い番組」を担当した。また、その後退職まではアナウンサー室で管理職として、アナウンサーを通して「正しく話す・喋る」ことを体感・会得した。	若手から超大物ベテランまで、多くの芸人との仕事を通して客前での「芸の笑い」と普段の素顔の「笑い」の両面を目の当たりにしてきた。その経験と吸収したことを我々一般人の日常にフィードバックできるように授業内で学生にアプローチする。	
笑いをマネジメントする	鹿島 我	2	放送作家として20年以上、関西を中心にバラエティ、スポーツ、クイズ番組の企画・構成に携わり続けている。主な構成番組は『たかじんnoぼあ〜』『キスした？SMAP』『熱闘甲子園』『アタック25』『合コン』『含宿』『解放区』『ナイトinナイト』等。また『M-1グランプリ』『R-1グランプリ』で審査員を担当。笑いを演じる演者の発掘にも携わる。現在は研究の一環としてオリジナル新作落語の執筆にも取り組んでいる。	お笑いタレントはもちろん、一般人(素人)、スポーツ選手、アイドル等、いろんなジャンルの関係者とお笑い番組を企画・構成してきた経験を活かし、笑いに特化したバラエティ番組の概念から企画書の作成、視聴者へのクオリティを維持した提供の源となる番組会議に関して、その手法と効果を学生にアプローチする。	
ゲームシナリオ論	村上 聡	2	株式会社スクウェア・エニックス他ゲームソフトのメーカー及びデベロッパーにてゲーム開発の実績あり。 映画制作、CM制作、音楽PV制作の実績あり。	現場経験から得た知識の伝授。さらに様々なゲーム研究機関での具体的な実験データ等を用いた学習を行う。	
日本の伝統文化を発信する	木村 未来	2	新聞社で文化担当記者として社会の動向、時代の潮流、海外の文化のありようを見つめながら、美術家や音楽家、映画監督、俳優、評論家に取材、ゆかりの地を訪ね、その地の人々に話を聞いたうえで執筆を重ね、日本の文化の特性を常に念頭に置いて、様々な年代の読者に、現代の文化について分かりやすく「発信する」仕事をしてきた。	新聞や、これをもとにした資料などを使って、日本の文化の状況や潮流に目を向け、ゆかりの地を実際に歩いて調査することで学びを深めて、その魅力を他者に分かりやすい言葉、表現で発信する力を身に付けていく。	

2022年度 文学部人文学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
建築文化入門(美学・建築文化建築)	納谷 新	2	自身の設計事務所において、日本全国での設計実務を手掛ける。	実務経験を活かし、日々変化する社会状況の中で生ずる具体的な課題を考慮しながら教育を行う。	
博物館入門	西島 太郎	2	博物館学芸員	歴史系公立博物館の学芸員経験を活かし、観覧者や利用者の視点による博物館活動だけでなく、博物館運営者や学芸員の立場からの博物館の実態を通して、博物館の社会的役割や楽しみ方について指導する。	
人文学情報検索法	湯浅 俊彦	2	図書館とデジタルアーカイブにかかわってきた書店勤務の実務経験を活かした授業を行う。	言葉・文字、事象・事項、歴史・日時、地理・地名、人物・団体など分野ごとの情報源の利用法を習得し、また電子ジャーナルや機関リポジトリ、各種データベース、国立国会図書館の各種サービスを活用した課題解決型授業を行う。	
デザイン文化論	納谷 新	2	自身の設計事務所において、日本全国での設計実務を手掛ける。	実務経験を活かし、日々変化する社会状況の中で生ずる具体的な課題を考慮しながら教育を行う。	
居住空間史	伊藤 洋子	2	歴史的建造物の保存・修復および活用について、国(文化庁)と地方自治体の文化財審議委員を勤めている。	教員自身が関わった文化財建造物の実例を授業に取り込んで紹介する。	
住宅構法論	青島 啓太	2	国内外の設計事務所での勤務経験を持ち、設計事務所における設計実務を手掛ける。	実務経験を活かし、建築実務の中で求められる知見を元に実例を示しながら教育を行う。	
製図基礎A	青島 啓太	2	国内外の設計事務所での勤務経験を持ち、設計事務所における設計実務を手掛ける。	実務経験を活かし、国内外の社会状況の中で生ずる具体的な課題などを参照しながら教育を行う。	
製図基礎B	納谷 新	2	自身の設計事務所において、日本全国での設計実務を手掛ける。	実務経験を活かし、日々変化する社会状況の中で生ずる具体的な課題を考慮しながら教育を行う。	

2022年度 国際教養学部国際教養学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の実務経験	実践的な教育内容	備考
グローバル・ 이슈-3	平井 華代	2	国際援助機関・研究機関での実務経験を有する。	開発援助の現場での体験を交えて講義を行う。	
Problem Solving Workshop	足立 勝	2	日製産業株式会社(現在の株式会社日立ハイテク)9年 日本コカ・コーラ株式会社(ディレクター&シニアリーガルカウンセル)18年 アストラゼネカ株式会社(執行役員・法務部長)7年 ニューヨーク州弁護士	ビジネスの世界のなかで得た知識・知見を必要に応じてシェアし、提示する課題に対する問題解決の内容を充実したものになるように図る。	
グローバルリーダーESP2 (News English)	平井 華代	2	国際機関・援助機関での実務経験を有する。	国連など国際的な現場で行われるディスカッションやコミュニケーションの実際を伝えるとともに、国内外の関連するテーマを扱う。英語で自分の意見を発信することの重要性や面白さを伝えるとともに、世界的課題や地域課題への関心の喚起を図る。	
グローバルキャリアESP3 (Business English)	足立 勝	2	日製産業株式会社(現在の株式会社日立ハイテク)9年 日本コカ・コーラ株式会社(ディレクター&シニアリーガルカウンセル)18年 アストラゼネカ株式会社(執行役員・法務部長)7年 ニューヨーク州弁護士	ビジネスの世界のなかで得た知識・知見を必要に応じてシェアし、取り上げるトピックスの背後にあるビジネスの考えを理解できるように図る。	

2022年度 国際教養学部国際日本学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
電子出版入門	湯浅 俊彦	2	電子出版の流通にかかわる書店勤務の実務経験を活かした授業を行う。	電子出版メディアの生産・流通・利用・保存に関する最新情報にもとづいた実践的授業を行う。	
デジタル・ヒューマニティーズ	湯浅 俊彦	2	電子出版の流通にかかわる書店勤務の実務経験を活かした授業を行う。	電子出版メディアの生産・流通・利用・保存に関する実践的授業を行う。	
日本出版文化論	湯浅 俊彦	2	著者、出版編集・営業担当者、出版流通関係者とかかわってきた書店勤務の実務経験を活かした授業を行う。	出版企画書の制作など、出版社の実務に沿った実践的授業を行う。	
演芸フィールドワーク	広瀬 依子	2	1989年から2016年まで、総合芸能雑誌『上方芸能』の編集者として勤務。関西発信の舞台芸能の成り立ちや作品、現況等の取材・執筆を行ってきた。落語、講談、浪曲をはじめとする演芸に関しても誌面で紹介を行ってきた。	現場を取材して得た演者や制作者の生の声、表現方法、演出、作品の解釈などを取り入れていく。	
日本の魅力発信フィールドワーク	木村 未来	2	新聞社で文化担当記者として社会の動向、時代の潮流、海外の文化のありようを見つめながら、美術家や音楽家、映画監督、俳優、評論家に取材、ゆかりの地を訪ね、その地の人々に話を聞いたうえで執筆を重ね、日本の文化の特性を常に念頭に置いて、様々な年代の読者に、現代の文化について分かりやすく「発信する」仕事をしてきました。	新聞や、これをもとにした資料などを使って、現代の文化の状況や潮流に目を向け、ゆかりの地を実際に歩いて調査することで学びを深めて、その魅力を他者に分かりやすい言葉、表現で説明できる力を身に付けていきます。	
日本学ワークショップ	木村 未来	2	新聞社で文化担当記者として、社会の動向、時代の潮流、海外の文化のありようを見つめながら、美術家や音楽家、映画監督、俳優、評論家に取材、執筆を重ね、日本の文化の特性を常に念頭に置いて、様々な年代の読者に、現代の文化について分かりやすく「伝える」仕事をしてきた。	新聞や、これをもとにした資料などを使って、現代の文化の状況や潮流に目を向け、知識を深めて、その特性を他者に分かりやすい言葉、表現で説明できる力を身に付けていく。	

2022年度 心理学部心理学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の実務経験	実践的な教育内容	備考
心理療法演習2	永野 浩二	2	精神科等における臨床心理士業務、中学校におけるスクールカウンセラー業務 等	担当者は、長年に渡る病院、中学校、青少年センターの相談員、カウンセラー等として、臨床現場での治療者、担当者としての経験に基づく事例研究、心理療法における経験を通して体得した研修方法あるいは実習法等現場での経験を生かして、カウンセリングの態度や技法について体験学習の解説を行う。	
医療臨床心理学	永野 浩二	2	せりかわ医院等における臨床心理士業務、中学校におけるスクールカウンセラー業務 等	担当者は、長年に渡る病院、中学校、青少年センターの相談員、カウンセラー等として、臨床現場での治療者、担当者としての経験に基づく事例研究、心理療法における経験を通して体得した研修方法あるいは実習法等現場での経験を生かして、カウンセリングの態度や技法について体験学習の解説を行う。	
福祉心理学	益田 啓裕	2	児童福祉施設において、長年心理療法及び心理的支援に従事してきた。	担当者は、臨床心理士、公認心理師の資格を有し、これまで児童心理治療施設や児童福祉施設等、種々の臨床現場において、遊戯療法を用いたカウンセリングや、入所児童への心理教育、生活支援等といった多くの支援を行ってきた。そういった実践経験および研究活動を活かし、社会福祉学や臨床心理学など様々な心理学の知見から、幅広い世代の福祉と心理的支援について解説する。	
情報リテラシー	菰淵 寛仁	2	情報処理技術の研究開発に携わるとともに、情報処理管理者として各種情報機器やITシステムの構築運用を行い、それに伴う情報セキュリティ、個人情報保護、著作権保護、知的財産権保護等の実務経験を有している。	各種情報機器／ITシステム／ツールの運用基礎を実務的側面から学ぶと共に、その使用に際して生じる社会的義務と責任について倫理的側面を含め、実例を交えて修得する。	
精神疾患とその治療	溝部 宏二	2	麻生飯塚病院にて内科医業務 九州大学病院にて内科医・心療内科医業務 恵愛会福岡病院にて精神科医業務 鳥取大学病院にて精神科医業務	担当者は、大学医学部において医師免許を取得、卒業後は研修医を経て大学院にて医学博士号を取得、修了した。その後、医学部学生への教育(講師・准教授)に就き、研修医へのスーパービジョンにも取り組んだ。また、臨床心理学部大学院生への実習指導等の実務もこなし、10年間に渡る大学心療内科・精神科における多岐に渡る臨床経験や研究を積み重ねてきた。さらに、大学病院において、精神科研修プログラムにおける研修生の教育に携わっており、現在も週に1日だけだが、精神科臨床活動を継続している。このような実務経験を活かし、授業では、「医学」の一分野である精神医学における「精神疾患とその治療」の講義では、「科学的基礎概念」を十分講義した上で「疾患」について解説を行う。	
人体の構造と機能及び疾病	溝部 宏二	2	麻生飯塚病院にて内科医業務 九州大学病院にて内科医・心療内科医業務 恵愛会福岡病院にて精神科医業務 鳥取大学病院にて精神科医業務	担当者は、大学医学部において医師免許を取得、卒業後は研修医を経て大学院にて医学博士号を取得、修了した。その後、医学部学生への教育(講師・准教授)に就き、研修医へのスーパービジョンにも取り組んだ。また、臨床心理学部大学院生への実習指導等の実務もこなし、10年間に渡る大学心療内科・精神科における多岐に渡る臨床経験や研究を積み重ねてきた。さらに、大学病院において、精神科研修プログラムにおける研修生の教育に携わっており、現在も週に1日だけだが、精神科臨床活動を継続している。このような実務経験を活かし、授業では、「医学」の一分野である精神医学における「精神疾患とその治療」の講義では、「科学的基礎概念」を十分講義した上で「疾患」について解説を行う。	
子ども学	駿地 真由美	2	不登校児通所ルームカウンセラー、スクールカウンセラー、児童思春期精神科クリニックカウンセラー等	担当者は、臨床心理士および公認心理師の資格を有し、これまで病院や学校等、種々の臨床現場で心理支援を行ってきました。スクールカウンセリングや、不登校児童・保護者への心理支援、発達検査・発達相談にも長年従事しており、そうした実践経験および研究活動を活かし、発達心理学や臨床心理学など様々な心理学の知見から、子どもの心の成長・発達について解説します。	

2022年度 心理学部心理学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の実務経験	実践的な教育内容	備考
心理的アセスメント	中鹿 彰	2	児童福祉センターにおける心理判定員等	担当者は、福祉施設(児童相談所、知的障害者更生相談所、児童心理治療施設)に長年勤務し、施設での非常に豊富な経験を持ち、その実務経験に基づいて論理立てた研究を行ってきた。特に、知的障害を含む発達障害児、発達障害者に対する支援においては、長年にわたり携わってきており、その実務経験を活かして、授業においても、心理的アセスメントの中心である面接、観察、知能検査、性格検査等様々な技法について解説を行う。	
遊戯療法論	辻 潔	2	石川県児童相談所、市立川西病院、大阪府立教育センター等において、心理面接、プレイセラピー及び心理査定業務等の経験を持つ。	担当者が、長年、臨床心理士として行ってきた臨床実践の実務経験を通して体得したクライアント理解のために必要な視点及び立場に基づいて、授業では、受講生がプレイセラピーとはどのようなものであるのかを理解しやすいように出来る限り具体的などころから順に積み上げて、その本質的な理解に近づけるように解説を行う。	
心理療法演習7	辻 潔	2	市立川西病院、都島クリニック、大阪府立教育センター等において心理面接及び心理査定業務の経験を持つ。	担当者が長年、臨床心理士として行ってきた臨床実践の実務経験を通して体得したクライアント理解のために必要な視点及び立場に基づいて、授業では、受講生が心理臨床実践を行うための基礎的な能力を養成するために開発された様々なグループワークを体験的に学び、正しい知識と実感を深めることを狙いに指導を行う。	
精神分析学	馬場 天信	2	私立中学のスクールカウンセラー13年、医療機関での臨床心理士10数年、私設開業オフィスでの20年以上の臨床心理士・公認心理師としての実務家経験がある。	担当者は、これまでの医療・教育領域での実務経験に合わせて、現在も継続している私設開業臨床での実務経験において、心理臨床家としての高い実践能力のもと、臨床実践と実証研究を有機的に連携するという臨床心理学研究の望ましい形の研究という観点から、授業においては、古典的な精神分析の基礎知識、発達理論、そして現代における精神分析の諸学派の理論的特徴について解説を行う。	
司法・犯罪心理学	櫻井 鼓	2	警察庁・県警察の心理職として20年以上にわたる犯罪に関する臨床、研究経験がある。	担当教員は、臨床心理士、公認心理師の資格を有し、これまで警察での臨床現場におけるカウンセリング及び研究、関係機関における講演活動を行ってきた。このような実践経験及び研究活動を活かし、犯罪心理学の基本的な内容及各犯罪の概要と実際の援助に際しての基礎的知識等について解説する。	
心理療法演習1	益田 啓裕	2	担当者は、臨床心理士、公認心理師の資格を有し、これまで児童福祉施設をはじめとする臨床現場において、遊戯療法を用いたカウンセリングや、入所児童への心理教育、生活支援等といった多くの支援を長年行ってきました。	実践経験および研究活動を活かし、心理療法や対人コミュニケーションのエッセンスについて、実際の対人援助職のトレーニングで用いられているワーク等を活用し、実践的な教育を行います。	
障害者・障害児心理学	中鹿 彰	2	担当者は福祉領域において、心理検査を含む心理アセスメントや心理臨床実践を行ってきた。	担当者は、福祉施設(児童相談所、知的障害者更生相談所、児童心理治療施設)に長年勤務し、施設での非常に豊富な経験を持ち、その実務経験に基づいて論理立てた研究を行ってきた。特に、知的障害を含む発達障害児、発達障害者に対する支援においては、長年にわたり携わってきており、その実務経験を活かした授業を行う。その実務経験を活かして、授業においては、知的障害を含む発達障害全般、さらには身体障害等についての理解と支援方法の解説を行う。	
認知行動療法論	嶋 大樹	2	担当者は、臨床心理士および公認心理師として、児童精神科クリニック、心療内科クリニックにおいて成人のうつ病や不安症に対する認知行動療法の実践に携わってきた。また、内科領域において、生活習慣病患者に対する生活習慣改善指導の経験も有する。	認知行動療法の発展の歴史や理論的背景の説明のみならず、それらを臨床実践において活用する際の方法、留意点について、実践経験をもとに解説する。	
心理療法演習6	嶋 大樹	2	担当者は、臨床心理士および公認心理師として、児童精神科クリニック、心療内科クリニックにおいて成人のうつ病や不安症に対する認知行動療法の実践に携わってきた。また、内科領域において、生活習慣病患者に対する生活習慣改善指導の経験も有する。	認知行動療法の発展の歴史や理論的背景の説明のみならず、それらを臨床実践において活用する際の方法や留意点について、実践経験をもとに解説・フィードバックする。	
健康・医療心理学	嶋 大樹	2	担当者は、臨床心理士および公認心理師として、児童精神科クリニック、心療内科クリニックにおいて成人のうつ病や不安症に対する認知行動療法の実践に携わってきた。また、内科領域において、生活習慣病患者に対する生活習慣改善指導の経験も有する。	生活環境で起こりうる心身・適応上の問題と対処法について、理論的背景の説明のみならず、それらを臨床実践において活用する際の方法や留意点をあわせて、実践経験をもとに解説する。	

2022年度 心理学部心理学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の実務経験	実践的な教育内容	備考
心理療法演習5	馬場 天信	2	担当者は公認心理師であると同時に臨床心理士であり、これまで医療、教育、産業での臨床経験がある。 また私設開業臨床も現在続けており、精神分析学会認定心理療法士、KIPP認定精神分析的心理療法家の資格を取得している。	メンタライゼーション及び詳細な質問といった技法は言語的な精神分析的な心理療法を行ううえで重要な技法となるが、言語的面接を行う全ての心理療法の汎用化された技法ともいうことができる。本授業ではロールプレイを通して毎回、自分のクライアントに対する関わり方について検討していくが、精神分析に関する上記の資格や臨床トレーニング経験が実習のフィードバックに役に立つ。	
司法臨床心理学	櫻井 鼓	2	警察庁・県警察の心理職として20年以上にわたる犯罪に関する臨床、研究経験がある。	架空の事例を用いた講義を行ったり、臨床現場において用いられている心理臨床の技法を伝えたりすることで、非行少年、犯罪被害者等への心理的支援についての理解を促進させる。	
公認心理師の職責	辻 潔	2	石川県児童相談所、市立川西病院、大阪府教育センター等で心理職として勤務した経験を持つ。	上記実務経験を活かし、公認心理師の5つの活動領域の内の保健医療・教育・福祉領域における心理職の活動、主に心理検査の実施や心理療法・カウンセリングについて、体験に基づき具体的に学生に伝えることができる。	
計算機アーキテクチャ	丸野 進	2	画像・映像を中心とした計算機処理技術の研究開発に携わると同時に、情報処理技術者としてデバイスからシステムまでの構築運用を行うなどの実務経験を有している。	計算機アーキテクチャの基礎を構成要素レベルから内部処理手順のレベルまで実務的側面も踏まえて学ぶと共に、アプリケーションへの適用についても実例を交えて修得する。	

2022年度 社会学部社会学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
スポーツ文化論	有山 篤利	2	1.京都府の女子柔道強化指定コーチとして、京都チームを国体優勝に導くなど、トップアスリートの育成に関わってきた。 2.京都府教育委員会保健体育科指導主事として、子どもの体力向上や総合型地域スポーツクラブの設置など京都府体育・スポーツの推進に関わってきた。 3.武道を中心にスポーツ文化に関する論文発表や学会発表・講演等を多数行ってきた。 4.運動部活動の顧問を経験し、全国レベルの競技者育成に携わってきた。	コーチ・教員としての指導現場、スポーツにかかわる行政、研究的立場などの幅広いスポーツ経験を活かし、偏りのない幅広い視点や多様な側面からスポーツ文化をとらえた学修内容を提供する。	
スポーツ教育学	有山 篤利	2	1.京都府の女子柔道強化指定コーチとして、京都チームを国体優勝に導くなど、トップアスリートの育成に関わってきた。 2.京都府教育委員会保健体育科指導主事として、子どもの体力向上や総合型地域スポーツクラブの設置など京都府体育・スポーツの推進に関わってきた。 3.武道を中心にスポーツ文化に関する論文発表や学会発表・講演等を多数行ってきた。 4.運動部活動の顧問を経験し、全国レベルの競技者育成に携わってきた。	保健体育科の教員養成や現場経験、スポーツにかかわる行政経験などを活かし、概念や抽象論にとどまらない実践的な学修内容を提供する。	
スポーツ文化概論1	有山 篤利	2	1.京都府の女子柔道強化指定コーチとして、京都チームを国体優勝に導くなど、トップアスリートの育成に関わってきた。 2.京都府教育委員会保健体育科指導主事として、子どもの体力向上や総合型地域スポーツクラブの設置など京都府体育・スポーツの推進に関わってきた。 3.武道を中心にスポーツ文化に関する論文発表や学会発表・講演等を多数行ってきた。 4.運動部活動の顧問を経験し、全国レベルの競技者育成に携わってきた。	コーチ・教員としての指導現場、スポーツにかかわる行政、研究的立場などの幅広いスポーツ経験を活かし、偏りのない幅広い視点や多様な側面からスポーツ文化をとらえた学修内容を提供する。	
スポーツ戦略論	上田 滋夢	2	国内外の代表チーム(協会)、プロサッカークラブやの指導者(監督・コーチ)やテクニカルスタッフ、クラブ役員を歴任	国内外のプロスポーツクラブでの実務経験を通じて得た、実践事例を用いながら本講座を構成していく	
スポーツガバナンス論	上田 滋夢	2	国内外の代表チーム(協会)、プロサッカークラブやの指導者(監督・コーチ)やテクニカルスタッフ、クラブ役員を歴任	国内外のプロスポーツクラブでの実務経験を通じて得た、実践事例を用いながら本講座を構成していく	
スポーツマーケティング論	上林 功	2	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2016～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベンチャー研究会委員など	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、実際にそったスポーツビジネスにおける課題解決について対話形式による議論をおこなう。	
スポーツ都市文化論	上林 功	2	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2016～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベンチャー研究会委員など	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、実際にそったスポーツビジネスにおける課題解決について対話形式による議論をおこなう。	
スポーツ産業論	上林 功	2	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2016～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベンチャー研究会委員など	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、実際にそったスポーツビジネスにおける課題解決についてグループディスカッションをおこなう。	
eスポーツ論	上林 功	2	スポーツコンサルティング会社経営(代表取締役)2014～ スポーツ庁、経済産業省その他有識者として参画 2016～ 渋谷区産業観光ビジョン策定委員、日本政策投資銀行スマートベンチャー研究会委員など	理論だけでなく、実践についてのエピソードを交えた講義をおこなうほか、実際にそったeスポーツに関わる議論についてグループディスカッションをおこなう。	

2022年度 社会学部社会学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
スポーツ心理学	松山 博明	2	国内プロサッカー選手・監督、ナショナルチーム監督	心理学的基礎、スキルの獲得に関する運動学習、スポーツと健康、スポーツに関わる様々な問題等、広範囲にアスリートに纏わる心理的現象を取り上げ、プロサッカー選手、監督などの実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
コーチング論	松山 博明	2	国内プロサッカー選手・監督、ナショナルチーム監督	スポーツリーダーとしての指導論やコーチング法など、プロサッカーチームの監督などのスキルや経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら講義及び実践的な演習を行う。	
身体表現論	岡元 ひかる	2	学芸員アシスタントとしての実務、ダンサーとしての実務	芸術の継承・保存に関連する授業内容の提供 ダンスの実践面を意識した授業内容の提供	
演劇論A	吉水 佑奈	2	舞台芸術を中心とした芸術活動の実作(出演、ドラマツルク)	実作の事例紹介、経験を基にした講話・解説	
芸能文化論	高安 美帆	2	1986年より2018年まで浪速神楽の舞手、2001年から現在に至るまで 舞台芸術を中心とした芸術活動の実演、演劇ワークショップ・古典芸能／演劇講座の講師及び企画運営を担当	実演家としての経験を基にした講話・解説	
アダプテッド・スポーツ論	曾根 裕二	2	特別支援学校にて約10年の教員経験があり、肢体不自由児、知的障害児の体育の授業を担当した経験があります。 勤務大学での地域貢献として、特別支援学校在籍生徒を対象とした運動教室の運営を行い、学生と共に活動を創っています。 パラスポーツの一つであるボッチャの指導者として、国際大会等にも帯同しています。	肢体不自由と知的障がいの特別支援学校での教育実践に基づいた具体的な教材や実践の例を紹介します。 障がいのある方々との運動教室でアダプテーションを行った事例などを紹介します。 パラスポーツに関わった経験から、障がいのある人にとってのスポーツの意義など、実践的な話題を共有したいと考えています。	

2022年度 経済学部経済学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
アメリカ経済論	木下 智博	2	日本銀行に34年間勤務、うち6年間米国駐在	日本銀行で従事した、米国経済・金融の調査分析、米国当局との交渉の実務経験を活かし、米国経済の実態やダイナミックな変化について具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
ビジネス・エコノミクス	藤好 陽太郎	2	授業担当者はおおよそ30年にわたり、大手新聞社で記者や特派員を経験した。日銀・財務省、メガバンクなどを取材したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材した。	担当教員は新聞社で約30年にわたり記者をしてきた。主に経済部で日銀・財務省、大手行(現メガバンク)、経産省、電機メーカーなどを担当。特に金融危機では連日、銀行の相次ぐ破綻や合併などを取材し、公表される事実とともに、その舞台裏や関係者の思惑などを報じた。また大阪でシャープの経営破綻と鴻海精密工業による買収や関西電力の取材などを指揮した経験を活かして講義を行う。	
ヨーロッパ経済論	藤好 陽太郎	2	大手新聞社で記者、特派員経験。日銀や財務省、経済産業省、大手銀行、電機メーカーなどを担当したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材。大阪経済部長、論説委員を歴任した。	担当教員は新聞社で約30年にわたり記者をしてきた。主に経済部で日銀・財務省、大手行(現メガバンク)、経産省、電機メーカーなどを担当。特に金融危機では連日、銀行の相次ぐ破綻や合併などを取材し、公表される事実とともに、その舞台裏や関係者の思惑などを報じた。ロンドン特派員時代はヨーロッパ全域をカバーし、英同時爆破テロからリーマンショック時のロンドン金融街シティまで幅広く取材。またG7(主要7カ国)首脳会議、WTO(世界貿易機関)、OPEC(石油輸出国機構)などの国際会議を取材、執筆した。多様な分野での取材・編集経験を活かし、取材体験や写真を含め具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
環境経済学1	何 彦旻	2	コンサルティングファームでの海外投資コンサルタント業務、産官学連携研究業務	コンサルティングの経験を活かし、企業の環境経営活動やアジア諸国の環境政策などについて具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
環境経済学2	何 彦旻	2	コンサルティングファームでのコンサルタント	コンサルティングの経験を活かし、企業の環境経営活動やアジア諸国の環境政策などについて具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
関西経済論2	藤好 陽太郎	2	授業担当者はおおよそ30年にわたり、大手新聞社で記者や特派員を経験した。日銀・財務省、メガバンクなどを取材したほか、ロンドン特派員を担当した。	担当教員は新聞社で約30年にわたり記者をしてきた。主に経済部で日銀・財務省、大手行(現メガバンク)、経産省、電機メーカーなどを担当。特に金融危機では連日、銀行の相次ぐ破綻や合併などを取材し、公表される事実とともに、その舞台裏や関係者の思惑などを報じた。また大阪ではシャープの経営破綻と鴻海精密工業による買収や関西電力の原発再稼働問題などを指揮した経験を活かして講義を行う。	
企業財務入門	京極 孝	2	金融機関勤務経験 35年(銀行 28年、ベンチャーキャピタル<投資会社> 7年)	金融の実務(主に融資業務と投資業務)の経験を持つ教員が、企業および資金の出し手からの視点で企業の財務活動の実態について講義する。	
金融ビジネス論1	京極 孝	2	金融機関勤務経験 35年(銀行 28年、ベンチャーキャピタル<投資会社> 7年)	金融の実務(銀行業務と投資業務)の経験を持つ教員が、金融の視点から実体経済と金融経済および金融ビジネス、社会的課題などについて講義する。	

2022年度 経済学部経済学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
金融ビジネス論2	櫻庭 千尋	2	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。その間、国際復興開発銀行(BIS)のアービング・フィッシャー中央銀行統計委員会副議長を兼務し、シャドーバンキングなどに関する情報不備(data gap)課題への国際協調体制構築に従事した。	1980年代の資産バブル、1990年代の不良債権処理、1997年以降の東アジア通貨危機、2007年以降の欧米金融危機に関わった知見を基に、金融機関と企業の現場での意思決定過程の実像を、履修者に提供します。これにより、個別事案における当事者間の情報ギャップ、経営内部と金融市場の間の情報の非対称性という金融の本質を、具体的に教授します。	
金融論	木下 智博	4	日本銀行に34年間勤務	日本銀行で従事した、経済の調査分析、金融システムや決済システムの企画運営、内外当局との交渉の経験を活かし、中央銀行や政府の政策運営手法について具体的な事例を紹介しながら解説する。	
行政法	百嶋 計	2	授業担当者は、国家公務員として、大蔵省(現財務省)に入省し、37年間政策立案・行政執行に携わった。特に、国税庁において国税局長・税務署長という講学上の「行政庁」として自身の名において行政行為を行うという実務経験を有するものである。	担当教員は、公務員時代に国税局長、税務署長という行政法学上の「行政庁」として、国という行政主体のために意思を決定し、それを自らの名において外部に表示する権限を有する極めて重要な行政機関としての実務経験を有している。したがって行政行為・行政調査をはじめとする行政活動に関し、その意思決定過程や手続に精通している。この実務経験を活かして、さまざまな行政活動・行政過程について法的な意義を講義するとともに、最近における実務上の課題についても講義し、生活を営む上で、またビジネスを行う上で関わりを持つことになる行政法の理論についてわかりやすく講義することができる。また、この30年間における行政手続法や情報公開法の制定などの行政の変革について、実際の行政現場での経験を踏まえて講義する。	
国際ビジネスコミュニケーション	佐藤 伸行	2	通信社記者。ドイツ、オーストリア、米国に駐在。国際報道に従事。	長年、海外駐在記者として国際政治・経済・社会を取材してきた経験を活かし、具体的な事例を紹介しつつ、実践的な授業を行う。授業担当者が経験してきた異文化との接触を詳しく紹介することで、異質なビジネス慣行や諸外国のメンタリティーを学ぶことができる。	
国際メディア論	佐藤 伸行	2	通信社記者。ドイツ、オーストリア、米国に駐在。国際報道に従事。	長年、海外駐在記者として国際政治・経済・社会を取材してきた経験を活かし、具体的な事例を紹介しつつ、実践的な授業を行う。授業担当者が経験してきた異文化との接触を詳しく紹介することで、異質なビジネス慣行や諸外国のメンタリティーを学ぶことができる。	
国際経済学	櫻庭 千尋	4	日本銀行において30年余りにわたり、内外経済情勢の調査と政策立案に携わった。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。	日本銀行での国際職務を通じて培った学識を活かし、実証分析に基づく教材を提供して、国際経済の本質を衝いた学問を提供します。また、日米構造協議やG20協議に参画した経験を踏まえて、日本経済に対する諸外国の評価を交えることで、政策論議の客観性を担保します。	
女性起業論	長町 理恵子	2	シンクタンク(日本経済研究センター)の研究員	経済統計を用いた経済予測、景気分析、労働関連(特に女性労働、保育等)の分野での研究やセミナー開催の経験を活かし、経済データや市場調査の重要性の理解が深まるよう、起業や企業の事例を紹介しながら講義を行う。	
租税論	百嶋 計	4	授業担当者は、国家公務員として、大蔵省(現財務省)に入省し、37年間政策立案・行政執行に携わった。特に、国税庁において国税局長・税務署長という講学上の「行政庁」として自身の名において行政行為を行うという税制執行の実務経験を有するものである。	当教員は、公務員時代に国税局長、税務署長という行政法学上の「行政庁」として、国という行政主体のために意思を決定し、それを自らの名において外部に表示する権限を有する極めて重要な行政機関としての実務経験を有している。したがって税務行政に精通している。この実務経験を踏まえて、納税が国民の義務であることから必ず関わりを持つことになる租税について、その理論をわかりやすく講義するとともに、最近における税制や税務行政の課題についても講義することができる。	

2022年度 経済学部経済学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
男女共同参画社会論	長町 理恵子	2	シンクタンク(日本経済研究センター)の研究员	経済統計を用いた経済予測、景気分析、労働関連(特に女性労働、保育等)の分野での研究やセミナー開催の経験を活かし、経済データや市場調査の重要性の理解が深まるよう、男女共同参画に関する企業や自治体の事例を紹介しながら講義を行う。	
地球環境論1	松田 年弘	2	エネルギー関連企業で勤務。	エネルギー関連企業での勤務経験を活かし、エネルギーの利用が地球温暖化や大気汚染という地球環境問題に影響を及ぼすことを紹介しながら講義を行う。	
地球環境論2	松田 年弘	2	エネルギー関連企業で勤務。	エネルギー関連企業での勤務経験を活かし、エネルギーの利用が地球温暖化や大気汚染という地球環境問題に影響を及ぼすことを紹介しながら講義を行う。	
中小企業論	藤好 陽太郎	2	授業担当者はおよそ30年にわたり、大手新聞社で記者や特派員を経験した。 日銀・財務省、メガバンクなどを取材したほか、ロンドン特派員を担当し、国際会議などを取材した。	担当教員は新聞社で約30年にわたり記者をしてきた。主に経済部で日銀・財務省、大手行(現メガバンク)、経産省、電機メーカーなどを担当。特に金融危機では連日、銀行の相次ぐ破綻や合併などを取材し、公表される事実とともに、その水面下の動きなどを報じた。関西では大廃業時代や人手不足問題などを取材した経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら講義を行う。	
日本経済論1	櫻庭 千尋	2	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わりました。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。	日本における経済政策の効果について、日本銀行での職務を通じて培った学識を活かし、実証分析に基づく教材を提供して、経済運営の本質を衝いた説明を提供します。また、日米構造協議やG20協議に参画した経験を踏まえて、日本の経済政策に対する諸外国からの評価を交えることで、政策論議の客観性を担保します。	
日本経済論2	櫻庭 千尋	2	日本銀行において30年余りにわたり、経済情勢の調査と政策立案に携わりました。最終役職は調査統計局審議役、および国際局審議役。	日本における経済政策の効果について、日本銀行での職務を通じて培った学識を活かし、実証分析に基づく教材を提供して、経済運営の本質を衝いた説明を提供します。また、日米構造協議やG20協議に参画した経験を踏まえて、日本の経済政策に対する諸外国からの評価を交えることで、政策論議の客観性を担保します。	
入門簿記	京極 孝	2	金融機関勤務経験 35年(銀行 28年、ベンチャーキャピタル<投資会社> 7年)	金融の実務(銀行業務と投資業務)の経験を持つ教員が、金融の視点を含めて簿記の仕組みと実務の関係について講義する。	

2022年度 経営学部経営学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
インターネットビジネス	井戸田 博樹	2	企業で情報システムの開発、運用業務に従事していた経験があります。また、現在も実務家の方々の研究会に参加しています。	学術研究で得た知見を皆さんに分かりやすく解説するために、実務経験で得た知識や事例を織り交ぜながら講義します。	
デジタルマネジメント	井戸田 博樹	2	企業で情報システムの開発、運用業務に従事していた経験があります。また、現在も実務家の方々の研究会に参加しています。	学術研究で得た知見を皆さんに分かりやすく解説するために、実務経験で得た知識や事例を織り交ぜながら講義します。	
ビッグビジネス論	劉 宏成	2	企業経営のコンサルティング業務において、26年間の経営コンサルタントとして様々な企業を指導・支援した企業診断全般の実務経験がある。その経験を活かし、実践的な授業を行なう。	企業を指導・支援した26年に及ぶ企業経営コンサルタントとしての実務経験を通して得た知識・手法を活かして様々な形で活用したケーススタディー等で企業の実像を探る実践的な授業を行なう。	
経営史	劉 宏成	2	企業経営のコンサルティング業務において、26年間の経営コンサルタントとして様々な企業を指導・支援した企業診断全般の実務経験がある。その経験を活かし、実践的な授業を行なう。	企業を指導・支援した26年に及ぶ企業経営コンサルタントとしての実務経験を通して得た知識・手法を活かして様々な形で活用したケーススタディー等で企業の実像を探る実践的な授業を行なう。	
経営学プロジェクト	和田 充弘	2	ラジオ・テレビ兼営放送局での実務(営業、テレビニュースの取材、ドキュメンタリー番組の制作、海外特派員など)。他に、テレビ制作局の部長としてコンプライアンスに関する諸問題に対応。アナウンサー室長として、アナウンサーの採用、育成、マネジメントなどに携わる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースやドキュメンタリー番組の制作時に、取材相手との人間関係をどう構築するかを実例を元に解説する。 ・文章の構成、修飾語、句読点の打ち方、体裁など文章作成の基礎を学ぶ。 ・現役アナウンサー(ゲスト講師として招聘予定)によるテーマトークの指導と実習。 ・ドキュメンタリー番組やカリスマ経営者のスピーチ動画を視聴して、リーダーシップや交渉力、表現力が実社会でどう発揮されたかを解説する。 ・ニュース制作の実習を通して情報の整理術や「伝え方」を学ぶ。 ・ネットフリックスや日本のアニメ産業などコンテンツを売る企業の活動を通して、メディア・マーケティングの現状とダイナミズムを解説する。 ・「米中対立」「EVシフト」など、日本の近未来に大きな影響を及ぼす最新のニュースを解説する。 	
行政法	百嶋 計	2	授業担当者は、国家公務員として、大蔵省(現財務省)に入省し、37年間政策立案・行政執行に携わった。特に、国税庁において国税局長・税務署長という講学上の「行政庁」として自身の名において行政行為を行うという実務経験を有するものである。	担当教員は、公務員時代に国税局長、税務署長という行政法学上の「行政庁」として、国という行政主体のために意思を決定し、それを自らの名において外部に表示する権限を有する極めて重要な行政機関としての実務経験を有している。したがって行政行為・行政調査をはじめとする行政活動に関し、その意思決定過程や手続に精通している。この実務経験を活かして、さまざまな行政活動・行政過程について法的な意義を講義するとともに、最近における実務上の課題についても講義し、生活を営む上で、またビジネスを行う上で関わりを持つことになる行政法の理論についてわかりやすく講義することができる。また、この30年間における行政手続法や情報公開法の制定などの行政の変革について、実際の行政現場での経験を踏まえて講義する。	
国際会計論	山下 克之	2	企業勤務をおおよそ20年しており、その間に財務、経営企画、会計、人事領域の実務に携わってきた。具体的には、IR、IPO、M&A、資本市場からの資金調達、銀行からの資金借入など。	上記の実務経験を活かし、講義内で取り上げる決算書作成プロセスについて学問的見地のみならず、実務的な観点から解説をする。	
財務諸表論	山下 克之	2	企業勤務をおおよそ20年しており、その間に財務、経営企画、会計、人事領域の実務に携わってきた。具体的には、IR、IPO、M&A、資本市場からの資金調達、銀行からの資金借入など。	上記の実務経験を活かし、講義内で取り上げる決算書作成プロセスについて学問的見地のみならず、実務的な観点から解説をする。	

2022年度 地域創造学部地域創造学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
都市政策論	井上 典子	2	文部科学技官(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)として法改正や運用だけでなく、各府省や地方自治体職員等、企業や住民の方々と協働で都市問題の解決に取り組んできました。	都市政策の現状と課題について実践的な検討を行うことができます。特に住民参加や都市環境問題について、国内外の事例を通じて具体的な思考を進めることができます。また、国際的な視点による比較等を行い、法制面における日本の現状と今後の展開を想定しながら、都市と生活の深いかかわりについて考えることができます。	
都市表象論	井上 典子	2	文部科学技官(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)として法改正や運用だけでなく、各府省や地方自治体職員等、企業や住民の方々と協働で文化活動を通じた地域的課題の解決に取り組んできました。	授業では、地域イメージの形成や、地方自治体等が進める文化資源を用いた地域づくりに関する事例を学習することができます。また、国内外の事例を用いて具体的な思考を進めることができます。国際的な視点から法令等に関する比較等を行い、日本の現状と今後の展開を想定しながら、地域と文化との深いかかわりについて考えることができます。	
ユニバーサルデザイン論	加茂 みどり	2	民間企業研究所研究員として、一般集合住宅や実験住宅の住戸改修において、ユニバーサルデザインに配慮した住戸計画策定・設計に従事した。	ユニバーサルデザインについて、自らの経験に基づき、生活者の立場とデザインの関係を実際の事例に基づいて具体的に解説する。	
観光交通論	菅原 達也	2	JTBで18年の実務経験があり、観光に関して多方面から実務経験を有している。又2017年～2019年にかけて、静岡県浜松市内の奥浜名湖商工会、新潟県村上市、燕三条市、及び和歌山県いなべ町等で地域振興事業のコーディネーターを担っており、地域住民と共に観光における事業の指導・支援を行っていた。	1. 旅行会社と交通機関の関係は単なる旅行会社のパッケージ旅行のツアーの主催者とサプライヤーとの関係にとどまらない関係を維持し続けている。その関係性においても年々変化しているそのような状況を実務の経験の中で事例を取り上げて解説する。 2. 現状の地域創生の場合、2次交通の問題は多くの地域で課題としてあげられている。その課題と解決策を実務の実例で紹介する	
観光社会学	菅原 達也	2	JTBで18年の実務経験があり、観光に関して多方面から実務経験を有している。又2017年～2019年にかけて、静岡県浜松市内の奥浜名湖商工会、新潟県村上市、燕三条市、及び和歌山県いなべ町等で地域振興事業のコーディネーターを担っており、地域住民と共に観光における事業の指導・支援を行っていた。	1. 旅行会社在职中、(1)観光者の類型、(2)観光地のホスト・ゲスト関係、(3)観光の社会的・文化的影響、(4)国際観光とマス・ツーリズム、というテーマを実務経験の中で経験してきた。その実務経験が過去、現在、将来とどのように変化、推移し、観光の社会の在り方、位置づけを考察する。 2. 観光によるまちづくりの場合も同様に多くの経験、実績を基に課題とその対応を実務経験の実績から事例として考察していく。	
都市空間計画論	田中 正人	2	都市計画コンサルタントとして、都市計画マスタープラン等の上位計画の策定、住民参加型まちづくりの技術援助に従事。	担当教員が実践してきた空間計画・環境デザインの経験を活かし、中心市街地、密集市街地、歴史的市街地、郊外住宅地、被災市街地など、さまざまな都市の具体事例を参照しながら、その歴史的背景と問題点、計画・デザイン手法の課題と可能性について理解するための授業。	
地域メディア論	泊 吉実	2	新聞記者(34年間)	暮らしや経済、事件・事故、司法、行政、福祉問題など多様な分野の取材・編集の経験を生かし、新聞を使ったドリルを実施する。毎回、新聞記事のスクラップ作成の課題を出し、記事の要点とその記事を選んだ理由を記述してもらい、記事のニュース性について説得力をもって説明できているかどうかをポイントとし、授業に持ち寄り、小グループで発表し合う。スクラップは授業終了時に提出してもらい、評価したうえでコメントを添えて返却する。	
自治体政策論	藤原 直樹	2	行政職地方公務員	近年、地域特性を生かした地域・自治体づくりが求められ、先進的な実践事例が目立っている。この授業では、自治体政策の内容とその執行について、担当教員のまちづくりや特区における事業開発、政策形成に向けた資料作成や予算要求、政策評価といった実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら解説を行う。	
地方自治論	藤原 直樹	2	行政職地方公務員	地方行政が果たす公的な役割について、担当教員の地方自治体における住民対応や議会調整、他の自治体との連携や国(中央政府)との連絡調整といった実務経験を活かし、具体的な事例を紹介しながら解説を行う。	

2022年度 地域創造学部地域創造学科(専門科目) 実務経験を有する教員の担当科目

開講科目名	担当教員	単位数	担当教員の实務経験	実践的な教育内容	備考
観光産業論	安本 宗春	2	旅行会社勤務	担当教員が旅行会社における実務経験(旅行商品の企画・造成、営業、等)を活かし、観光産業における多様な展開について具体的な事例の紹介を行う。	
観光マーケティング論	安本 宗春	2	旅行会社勤務	旅行会社における旅行商品の企画・造成、販売といった実務経験を活かし、マーケティングの基礎的な理論を踏まえて実践的な事例の紹介を行う。	